



小中一貫教育ってどんな教育？

今回は、国の教育政策について紹介しました。国も推進していくことが必要であるとの方向性を示している「小中一貫教育」とは、どんな教育なのでしょう？

今までの「小学校・中学校」の義務教育と比べて何が違うのか、これから何回かにかけてご紹介します。

変わらないところ

「小中一貫教育」と聞くと、これまでと違った新しい教育のように思われるかもしれませんが、小中一貫の学校においても、国の定めた教育の内容である「学習指導要領」に沿って教育することは変わりません。ですから、小中一貫でも、基本的に1年生から6年生まではこれまでの小学校の学習内容、7年生から9年生は中学校の学習内容となります。



小中一貫教育だからできること

小中一貫教育の学校では、教育課程の特例が認められ、学校運営について柔軟に運用することができるため、9年間を見通したカリキュラムの工夫が可能となりました。

土肥小中一貫校では、学年の区切り方を工夫して、これまでの「小中6・3制」ではなく、下の図のように「4・3・2（初等部・中等部・高等部）」の学年段階の区切りを設定して学習や行事などの活動を行っています。

教育の課程・区切り	前期課程 【小学校学習指導要領】				後期課程 【中学校学習指導要領】					
	初等部				中等部		高等部			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
授業	学級担任制が中心				実態に応じた形態を実施			教科担任制が中心		
学びの段階	学びの基礎充実期 ・集団生活への適応 ・学びの約束を理解し、学び方を知る ・学びの習慣化、読書				学びの展開期 ・学びの習慣化、読書 ・自主学習への取組み ・自分なりの目標をもつ			学びの発展期 ・自主学習の深化 ・進路選択に向けた目標ある生活		

ご質問・ご意見は、東伊豆町ホームページの【お問い合わせ】か
 東伊豆町教育委員会【電話】0557-95-6207 【〒】413-0411 東伊豆町稲取3354
 【メール】kyouiku@town.higashiizu.lg.jp お願いします。

